

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	HM	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学 年	3 年	派遣国	イタリア
派遣大学	Ca' foscari 大学		
期 間	2025 年 09 月 05 日～ 2026 年 06 月 01 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / <u>アパート</u> / その他 ()					
部屋	<u>個室</u> / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (100,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	バスで、約 20 分 & 徒歩で、15 分					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	150€	ほとんどスーパーでのやりくり
学用品購入費	0 円	(イタリア語を履修する場合教科書代あり)
交通費	25€	一か月分の定期カード
交際費	30-50€	友達との交際費
その他	50€	雑費

合計

300€前後

1 € = 185 円

(2) 治安状況・危険地域など

もともと聞いていたように、メストレ駅周辺はやはり治安がよくないと思います。島に比べると移民の方々が多く、夜道は本当に危ないです。ですが、日常的な買い物などのアクセスは本当によく、島までもそこまで遠くないのでとても良い立地だと思います。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他（ ）		
加入期間	（ 10 ）ヶ月間	保険料	（ 103,930 ）円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	（ ）ヶ月間	保険料	（ ）円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町（メストレ/Mestre）

ヴェネツィアの島からバスで 20 分の本島に位置する町。Corso del Popolo という大通りにはスーパーマーケットや薬局、ファストフード店などの様々な施設があるので本当に生活しやすいと思います。また、Centro と呼ばれる中心地にいけば、小型のショッピングモールがあったり、ファンシーなレストランもあります。高校もあり、日中には学生、ご老人、子連れの家族といった人々で賑わっています。一方で、誰もが言う通り、夜には治安が一変します。移民の人々を中心に駅周辺ではよろよろとした人が歩き回っていたり、酔っぱらった人が道に座り込んでいるのは普通です。

【学業編】

1. 大学情報

大学	Ca' foscari 大学	所在地	主にヴェネツィア島内(一部 Mestre) Sestiere Dorsoduro, 3246, 30123 Venezia
最寄空港	Marco Polo 空港	空港からの距離	13km
空港⇄大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ ACTV バス：各駅停車バス。定期カード使用可能 ・ ATVO バス：駅や島に直通バス。定期カード使用不可 		
学生数	Campus による	留学生数	
学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ Economic and Management ・ Languages and Cultures ・ Science and Technology ・ Arts and Humanities ・ Public Governance and Social Change ・ International Studies and Globalization ・ Preservation and Management of Cultural Heritage 		
学部/専攻	International Studies and Globalization		

2. 週間スケジュール

① 09 月～01 月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	・ Guest experience design		・ 日本語学部の授業（自由会話）		・ Guest experience design
午後		・ Venetian Art & Archaeology ・ 日本語学部の授業（漢字添削）	・ Venetian Art & Archaeology ・ History of Italian Culture and Literature		・ History of Italian Culture and Literature

② 02 月～04 月上旬

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	・ an open city in historical perspective ・ cross cultural communication, diversity, and inclusion	・ cross cultural communication, diversity, and inclusion	・ an open city in historical perspective ・ Food & beverage management	・ an open city in historical perspective ・ Food & beverage management	
午後	・ Italian Culture & Made in Italy	・ Food & beverage management ・ 日本語学部の授業（漢字添削） ・ Italian Culture & Made in Italy	・ 日本語学部の授業（漢字添削）	・ 日本語学部の授業（自由会話）	

③ 04 月下旬～05 月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前			・ Gender studies		・ Migration policy
午後	・ Italian Culture & Made in Italy	・ 日本語学部の授業（漢字添削） ・ Gender studies	・ 日本語学部の授業（漢字添削） ・ Migration policy	・ 日本語学部の授業（自由会話） ・ Migration policy	・ Gender Studies

3. 履修内容

科目	Venetian Art and Archaeology -From the origins of Venice to the Biennale		
履修期間	1 st semester	単位数	6 ECTS
授業内容／形態	<p>内容：ヴェネツィアの起源から「至高の共和国」の没落に至るまでの芸術の発展と普及を考察する。ヴェネツィア市の特異な地形学的条件の分析を出発点とし、中世盛期から 19 世紀に至る歴史的・文化的文脈において、ヴェネツィア美術の主要作品を検討する。</p> <p>授業形態：一斉授業</p>		
成績	29/30		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 A）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	History of Italian Cultura and Literature		
履修期間	1 st semester	単位数	6 ECTS
授業内容／形態	<p>内容：ヴェネツィアが関連する場合にはその役割に焦点を当てつつ、作家や文学・芸術作品を研究することで、ルネサンスまでの過去のイタリア文化を提供することを目的とする。</p> <p>授業形態：一斉授業</p>		

成績	21/30	
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 B）
	単位数	2
	担当教員	

科目	Guest experience design		
履修期間	2 nd term	単位数	6 ECTS
授業内容／形態	<p>内容：ホスピタリティ分野におけるゲスト体験の設計と定義を成功させるための知識を提供することを目的とする。</p> <p>授業形態：一斉授業</p>		
成績	26/30		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 C）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	日本語学習支援インターンシップ		
履修期間	全セメスター	単位数	
授業内容／形態	<p>日本語学科の授業に参加し、自由会話にてコミュニケーションをとったり、漢字クラスで添削のお手伝いをしたりする。</p> <p>授業形態：自由会話 or 漢字添削</p>		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	An open city in historical perspective : Venice		
履修期間	3 rd term	単位数	6 ECTS
授業内容／形態	<p>観光学がホスピタリティ経営に応用される中で、人文科学が貢献する領域は、人間関係とコミュニケーション、芸術的知見、歴史および文化遺産といった次元において実現される。具体的には、近世期のヴェネツィア都市を題材とし、その歴史の多様な側面を探究する授業。</p> <p>授業形態：一斉授業</p>		

成績	22/30	
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 D）
	単位数	2
	担当教員	

科目	Food and Beverage management		
履修期間	3 rd term	単位数	6 ECTS
授業内容／形態	<p>本コースは、経済・ビジネス知識およびスキル、特に飲食・ケータリング業界における組織運営・管理分野を扱う。私たち生徒は、ホスピタリティおよびレストラン・ケータリング企業内の飲食部門における様々な業務分野で、実務的な役割を担うために必要なスキルを習得できるような講義を受けられる。</p> <p>授業形態：一斉授業</p>		
成績	28/30		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 E）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Cross cultural communication, diversity, and inclusion		
履修期間	3 rd term	単位数	6 ECTS
授業内容／形態	<p>人類学的視点から観光の面でのホストとゲスト、その他の関係者の相互作用を研究することを目的とし、観光の種類、地域社会への文化的・環境的影響、観光客との出会いの社会文化的ダイナミクス、資源をめぐる紛争、倫理的かつ持続可能な観光開発のための代替プロジェクトなどを探求する授業。</p> <p>授業形態：一斉授業&フィールドトリップ</p>		
成績	24/30		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 F）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Italian culture and Made in Italy		
履修期間	2 nd semester	単位数	6 ECTS

授業内容／形態	本講座はイタリアの歴史と文化を学際的に概観し、その土地特有の特性と地域伝統を探究する。美術、建築、デザイン、ファッション、文学、映画、音楽、美食といった分野を巡る旅を通じて、民俗学や地域伝統への洞察も含みながら「Made in Italy」の最も著名な表現の数々を考察する。 授業形態：一斉授業＆フィールドトリップ	
成績	18/30	
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 G）
	単位数	2
	担当教員	

科目	Gender studies		
履修期間	4 th term	単位数	6 ECTS
授業内容／形態	本講義ではジェンダーとセクシュアリティ、ならびに民族性／国籍、階級、障害に焦点を当てることで、人権、労働、家族、移民、不平等、アイデンティティといった様々な研究分野における理論と方法論の発展にどのように寄与し得るかを考察する。実証研究や日常生活の実例を組み合わせながら自身の視点について考察するとともに、様々な文脈におけるジェンダーの意味を理解するために必要な分析スキルを養う。 授業形態：ディスカッションメイン＆一斉授業		
成績	27/30		
YCU 振替予定	科目	ジェンダー論	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Migration policy		
履修期間	4 th term	単位数	6 ECTS
授業内容／形態	本講座は PISE の「関連・統合」活動の一環として、移民政策に関する基礎的な枠組みを提供することを目的とする。移民政策の分析は、政治学概論、国際関係論、社会運動に関連する社会学の教義と対話する。 授業形態：一斉授業		
成績	19/30		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

イタリアを選んだのは、自分の学問分野の面はもちろんのことなのですが、正直なところ、イメージが付きやすく、ヴェネツィアで大学に通えるなんて夢のような生活が毎日送れるのだろうと思ったというのも一つの単純な理由です。実際、向こうに到着して一か月は夢のような街並みでワクワクが続いていましたが、夏が終わり冬になると雨が多く、決して綺麗ではありませんでした。また、島なので移動手段は徒歩という選択肢しかなく雨の日はひとすらに気分が下がっていました。ですが、学校が始まる前に留学生イベントにたくさん自分から積極的に参加し、交流関係を広げていたため、学校に行ってしまうと楽しく過ごすことができていたと思います。また、日本語を専攻しているイタリア人のクラスにも日本語学習支援という形でボランティアとして参加していたため、イタリア人の友達をたくさん作ることができました。ほかにも ESN という留学生向けの団体があり、イベントを通して仲良くしてくれたイタリア人ご家族とは、イベント後もお泊りをさせてもらったり、イタリア内の車でしか行けないところに連れて行ってくれたりなど、本当に素敵な経験をさせていただきました。この留学はホームステイではなかったはずなのに、イタリアには私の第2の家族がいます。感謝でいっぱいです。

また、冬休みや春休みといった長期休みには、イタリアを拠点に、フランスやスペイン、ドイツ、ベルギー、チェコ、オーストリアなどのヨーロッパの有名な国々、また、アルバニア、北マケドニアなどヨーロッパにいたからこそ訪れることができた経験ができました。実際にその土地の街並みや文化、人々の暮らしに触れることができました。同じヨーロッパでも、国によって文化や価値観、生活のスタイルが大きく異なることを実感し、教科書やインターネットだけでは得られない学びがありました。また、異なる文化に自分から飛び込むことで、行動力や適応力も身に着けることができたと思います。この経験から、実際に「自分の目で見て、感じる」ことの大切さを感じました。

私は留学を通して、異なる文化や価値観に触れることで、自分自身の視野を広げることができました。イタリアで観光学を学び、ヨーロッパ各地を訪れる中で、観光は旅行者だけでなく、地域の人々や文化、環境とのかかわりが大切だと実感しました。また、言語や文化が異なる環境で生活することで、自分から行動することの大切さや、違いを受け入れ相手を理解しようとする姿勢も身につきました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今回の留学を通して、授業内だけでなく友人との日常的な会話の中でもビジネス英語に触れる機会が多くあり、これまでの日常会話レベルを大きく超える英語力を身につけることができたと感じています。さらに、中高生から大学1・2年生の頃までは将来の進路が曖昧で、自分がどのような仕事に就きたいのか明確に描けずにいました。しかし、イタリアでの留学経験を通して観光分野に強い興味を抱くようになり、関連する授業を受けたことで、自分の進みたい方向がはっきりと見えるようになりました。

また、やりたい仕事を実現するためには、どの資格を取得し、どのような勉強を積み重ね、これから何を準備すべきかを考え、先を見据えて行動する重要性に気づく大きなきっかけにもなりました。多文化環境で生活したことで、異なる文化的背景を持つ人々のニーズを理解し、橋渡し役として柔軟に対応できる力も身についたと実感しています。これらの経験を今後の就職活動、そして将来の仕事の場で活かしていけるよう、まずは資格取得に向けて努力を重ねていきたいと考えています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学を考えている後輩の皆さんには、少しでも興味があるなら、ぜひ勇気を出して挑戦してほしいと伝えたいです。留学前は、語学力や海外での生活に対する不安もあると思います。私自身も最初は不安があり、思うようにコミュニケーションが取れないこともありましたが、しかし、実際に生活してみると、完璧な語学力がなくても、自分から話しかけたり行動したりすることで、少しずつ人とのつながりを作ることができました。

また、留学中は大学の授業だけでなく、現地のイベントやボランティアなど、できるだけ多くの活動に参加することをおすすめします。私は ESN のイベントを通してイタリア人家族と出会ったり、日本語クラスのボランティアを通してイタリア人学生に日本語を教えたりしました。こうした経験は、授業だけでは得られない貴重な学びや思い出になりました。さらに、時間があるうちに積極的にいろいろな場所へ足を運んでみてください。私は留学中にヨーロッパ各地を周遊し、国によって異なる文化や価値観を実際に自分の目で見ることができました。留学生活では、失敗や不安を恐れて行動を止めてしまうのではなく、「やってみよう」と思ったことにはできるだけ挑戦してほしいです。留学で得られるものは語学力や知識だけではなく、新しい価値観、人との出会い、そして自分自身の成長です。迷うことがあっても、その経験すべてがきっと将来の自分の力になると思います。